

キャラクター名 レップス

プレイヤー名

メインクラス	エキスプローラー	Lv.1:	シーフ	レベル	24
サポートクラス	ダンサー	Lv.1:	ダンサー	性別	♀
称号クラス				年齢	15
種族	ヴァーナ(アウリラ)			境遇	紛失
出自(効果)	闇の一族			目標	波乱万丈(運命)

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	19	24	38	6	35	9	9
ボーナス	6	8	12	2	11	3	3
クラス修正	0	1	3	0	2	1	1
他修正							
能力値	6	9	15	2	13	4	4

HP	210
MP	200
フェイト	14

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	パリーダガー		-2	12	2				
左手	パリーダガー		-2	12	2				
頭部	蝶の帽子				3	1			
胸部	ストライダーククローク				2	9	0	3	
補助	ウィングバックラー				2	8	1		3
装身具									
能力値			9	0	15	0	4	28	11
スキル			15	13					
その他	風の蹄鉄、太陽のリボン、Gカード		4	2					
総計(右)			7	31					
総計(左)			7	31	41	18	5	31	14
総計(両)			5	43					m
ダイス数			3 d	3 d	4 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	13			13	+ 2 d
トラップ解除	9			9	+ 2 d
危険感知	13			13	+ 2 d
エネミー識別	2			2	+ 2 d
アイテム鑑定	2			2	+ 2 d
魔術判定					+ d
呪歌判定	4			4	+ d
錬金術判定					+ d

所持品	
異次元バッグ	蘇生薬
ベルトポーチ	
	ランチボックス
	にく
枕	野菜
ポーションホルダー	耐毒符
EXMPポーション	飛翔符
EXHPポーション	
万能薬	

現在重量:	14	所持金:	572786	預金・借金:	
最大重量:	50				

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ハイジャンプ	★	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果: 兎族、ムーブアクションでエンゲージを離脱しても、マイナーアクションを行うことができる								
ワイドアタック	1	4	メジャー	武器	範囲(選択)	命中		
効果: 武器攻撃を行う。2体以上を対象に取ったらダメージ+[SLx2]								
インタラプト	★		宣言時	視界			汎1	
効果: スキル自動失敗								
ステップダーク	◇	4	セットアップ					
効果: 回避達成値+6								
バトルステップ	◇		パッシヴ		自身			
効果: ステップ~時命中,回避,ダメージ+3								
ミステリアダンス	◇	4	セットアップ	10	単体			
効果: 敵(精神)vs自(敏捷+6)逆上								
AM短剣	★		パッシヴ					
効果: 命中+1D								
アフターイメージ	★	12	ムーブ					
効果: 武器命中+1D、回避+1D								
ピンポイントアタック	◇	10	ムーブ				sc3短	
効果: 物防魔防0								
リジエネーション	★	10	ムーブ				汎1	
効果: HP回復CL*5								
アプリケーション	★		マイナー				汎1	
効果: MP回復CL*5								
ソードダンス	★	5	マイナー					
効果: Dm+敏捷								
フィルトワーク	○	4	判定前				sc5	
効果: 判定+1D								
ダンシングヒーロー	★		判定前				sc1	
効果: 判定+1D								
ディテクト	★	8	判定前				sc1	
効果: 1つでも6が出ればクリティカル								

とある王族に仕える諜報、暗殺を生業とする一族に生まれ、物心ついたときから訓練を受ける。ちょうど成人したと同時に訓練課程を一通り終え、いざ初陣という所で王国が滅亡。仕えるべき主を無くし茫然自失で彷徨っていたところを酒場のママ(オカマ)に拾われる。王国の暗部に生きていた彼女らの一族では個を識別する名前は無く、レップスという名前はママからもらった。訓練の一環で質素な食事しかとったことがなかった彼女にとって、酒場で出される「おいしい食事」というものは今までの人生観を変えるほどの衝撃だった。以来彼女の美食に対する興味は尽きることなく、美味しそうなものはとりあえず食べてみる。がモットーになりつつあるようだ。「ただ飯ぐらいを置いておくほど寛容じゃないわよ!」とのことで、あれよあれよと店のダンサーとして仕立て上げられ芸を仕込まれる。元々訓練により鍛えられた身のこなしの軽さゆえに飲み込みは早く、半年もたつ頃には職業として生計が立てられるレベルまで上達する。酒場に集まってくる冒険者たちの話を聞いているうちに、次第にもっと広い世界を知りたいと思うようになる。(その興味は8割がた食べ物のごとであるのは誰の目にも明らかだが。)

そんな折、常連客の一人から冒険者を募っているとの噂を耳にし、「冒険者になればいろんな世界(の美味しいもの)が知れる!」と思い立ち、世話になった酒場に別れを告げ、冒険者協会の扉を叩く。

